夕刊
十二月十五日發行
郵便料金　定期購読料　一箇月金六拾錢　五箇月金三圓　郵便料金　一箇月分　金拾錢　五箇月分　金五拾錢
發行所　磐城新聞社
日曜祭日翌日休刊

精神日本の再建（二）

文部政務次官　東郷實

農村の行詰りは都會に生活して居る我々に何等の痛傷がないやうであるが、さうでない。農村の行詰りは農民の購買力の減退となり擔稅力の減退となつて、此處に農村を華客とする所の商工業が非常なる打撃を受ける、卽ち特に都會に於ける中小商工業者に大なる打撃を與へると云ふ結果を來すのであつて、今日農村を救はなければならぬ、中小商工業者を救はなければならぬと云ふ叫びが盛んになつて來て、先頃の臨時議會に於ても時局匡救の大なる目標がそこにあると云ふ憂ふべき世相を生み出したと云ふことは、少くとも過去六十年の間我が國の政治並に文化的諸般の施設が都市中心であつて、地方農村を輕く見たと云ふ、そこに根本の原因、病源があると私は信じて疑はぬのである。之を先づ以て是正すると云ふことが今日の日本の行詰りを根本に打開すると云ふことでなければならぬ。そこで然らばどうして我が國の過去六十年の政治其他の歩み方が、斯の如き時弊に陷つたかと云ふと、是は我が國が明治維新の大業を達成して以來、一も二もなく西洋の物質文化、所謂西洋から諸般の制度文物を取入れて來た、言はゞ西洋模倣に終始一貫して歩んで來た當然の結果なりといはねばならぬ。

そこで何故を執でばさう云ふことが非常な禍ひをしたのであるかといふと、申すまでもなく、文化には色である。そこで斯の如く外國の文化を模倣すると云ふことが宜いか惡いか、ダルトと云ふ人が模倣の眞理と云ふ本に模倣は進化の一つの階段だと云つて居るから我々が非常に遲れて居つたとすれば、其遲れた所の文化を大いに發展せしむる爲に進んだ所の文化を模倣して取入れて行くと云ふことも一つの手段であるに違ひないが併しながら無條件に外國の文化を取入れて行くと云ふそこに大なる弊害を釀すと云ふことを私達は忘れる譯に行かない。此意味に於て過去六十年間の我が國の西洋模倣一點張りの歩み方は一面に於ては今日のやうな驚くべき日本の新文化を造り得たのであるが、一面に於ては今日此憂ふべき各〻の世相と云ふものゝ病源もそこにあると私は斷じて憚らないのである。

時代警語

○學問に遲き時なく老いたりと雖學び得ざるの理なし……（英獨俚諺）

英國化學界の泰斗『プリーストレー』一日釀造所で酒の上に泡立ち流れ忽ち消滅するを見たのが研究の動機となり竟に瓦斯の發明を成し斯界の泰斗たるに至つた、時に四十歳であつたと云ふ……

磐新歌壇

小山田滋選

○暮れ近くなりてか吾れの工場にも　夜仕事有りて心忙しさき　　樽井　勇

○暇故にかこち居りたる人々も　手の足らざるをかこつ身となり

○夜仕事を濟まして歸へるうらやすさ　今宵の月は明るかりけり　　磯上　六花

○赤々と太杉山をつらぬきて　太陽は今しのぼらんとする

○新らしく建てたる納屋の軒下に蹈き摘ひたり白菊の花

青春を歎く『詩』

中川　浩

昨日も今日も私の心は日增しに
憂鬱になる
青春の甘い夢をも想はないではないが
どうしてそんな餘裕があらうか
戀なんかはブルヂョアのお坊ちやんの
玩具にすぎないんだ
私の青春なんか生活苦の爲にとうに
老ひ朽ちてしまつた

拈華微笑

◇長計劃　我窟ボイ村に相應な話

◇恐ろしい不況のアルコールに酒屋さん續々潰れる

◇元署跡のグリーン地帶化。懷ろと同樣涼しい平町の計劃

◇磐崎に法學士村

◇勞銀の代りに主家の品物。專賣特許の臨時債務調停法

◇師走も愈々明日から下半期

○……○

社會の今日

○山北のはざまの雪の消えやらず、冬至に近くなれるこのごろ　島木赤彥

門番の師走の障子煤けたり　野鳥

ハンマの響きにモーターの唸りの中に私の身は心は飼まれてゆく

生活の苦しさなんか知らない脂肪過多の醫者は勞働を休めと云ふか貧しさは私を酷使する　哀れな私は金錢の奴隷となつて働き續けなければならないのかあゝ　私の身は心は私のコホロギの樣に朽ちかけてゆく。

…（民謠）…

しまのひぐれ
てつ・きたむら

キリリまかんせ
糸釣瓶
ホロリ
涙が落ちました
……
サツサ　まかんせ
糸釣瓶
島で　岬は
もう日は紅い
潮の音聽きや
つれないものさ
……
キリリまかんせ
糸釣瓶
十日嫁子の
ひぐれどき
ホロリ
涙が落ちました
……
サツサ　さむさが
身に泌みて
遠い母さま
思はれて
ホロリ
涙が落ちました
……
サツサ　まかんせ
糸釣瓶
島じや　椿　紅椿
チカリ
ひかつて散りました

△16日—12月元—△佛國公使幕府にビストルを献ず（慶應南極に達す（一、九一一）△米下院二年間移民入國禁止を可決す（昭和五）

講談　お蘭陀お蝶

（208）　渡邊默禪作　布施長春畫

野郎のこツたから、まご〳〵して取捉まりやしねえかな』

『或ひは爾うかも知れん、！』

併し妙だの兄弟、彼の青二才の顏をチラリと見たが確かに彼奴は祇園で此方の仕事の邪魔をした侍だせ、如何してこんな土地にまでのゝ何して分のことよ、さうして彼さ張つて來たのか、又たどんな羽目の狂ひから此方の寸法を讀まれて了つたものやら、俺ア不思議でならないよ』

『けちがついて來ると這麼物だ、商賣のわづれねて仕方が無え、偶にやア失策もやつた方が後學の爲になるだらうよ、なアに怪我さへ無けりア、あんな小僧の二人や三人手捌みにしても、ア、痛い〳〵、丹波、そこらに水はないか、水が！』

『アハ、負惜みをいふ下から直にその通りだ、待て俺も一息吐いて行かうわ』

こんな事を話して駈るうちに、山の裾を一廻りして小高い處へ出た、籔の下に流れてゐる、二人は其處に一と休みして、疵口を洗ひ喉を濡し裄衣を裂いて繃帶の手當などをした。

『時に兄弟、此の先はどうするつもりだ』

『さア、活神さまの化の皮も剝れちめえア、最う不動窟にも居られねえ尻に帆かけて高飛をするばかりさ』

『彼の女はどう刷毛をつける』

『お蝶か、恁うなりや是非が無え、江戸の金公に居直りを喰はせて絞つた上突出すさ、それが此方の路銀だ

おるかも知れなねえ、權が味方について呉れりやア、なアに金城鐵壁さ』

途端に直眼の下の林を縫つて狐火の飛ぶやうに閃き立つ松明が七つも八つも顯はれて見えた、幽かに人聲足音も聞えた。

『さサ、急で逃げろ〳〵』

二人は愕然として立揚つた。

龍馬は村の壯丁を指揮して慕に狸谷へ向つた、途中で取押へられた乞食が十餘人もあつた、いづれも雲母坂から狩上げられた臨時の人足で、拐引した娘を山中へ運ぶ約束であつた。

東の空のぼつと白くなる頃不動窟の崖下に着いたが鐵梯子は遙くも上に引揚げられてゐるので踏るべき足場がない。

ハタと行詰つて、如何せう恁ふせうと軍評議をしてゐる鼻のさきへ、ごろ〳〵ごろどしん！大きな石が顚がつて來た、ハッと驚いて飛退く間もなく、又た一つすさまじい地響もろとも二三人ばかり、血塗れになつて打倒れた。

攻撃軍は是れに驚ろいてばらばらと逃げた、さうして石の飛んで來さうもない谷蔭や樹の下にたむろして怪我人の介抱などしてゐるうちにほのぼのと夜が明け放れた。

ラヂオ

…十六日…〔金曜〕…

仙臺　JOHK

△前七、〇〇　八、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇H　料理献立
日用品値段
△一〇、三〇　家庭講座（紙芝居と兒童）關寛之
△正午　時報　氣象
△後〇、〇五Q　俚謠（一、酒造り唄　二、新狸小唄）
△〇、二〇T　俚謠（出雲名物…一、安來さはぎ　二五本松踊り）
△〇、四〇A　ニュース
△五、〇〇A　受驗講座（漢文）塚本哲三
△六、〇〇（子供の時間）童話（牡丹餅）高島嚴
△六、二〇A　コドモのシンブン　關屋五十二
△六、二五　英語講座（初等科）岡倉由三郎
△六、五五　カレント、トピックス　ハロルド、バーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　冬山の夕（冬山座談會）麻生武治　小秋元隆邦　河上喬雄　司會…白井正福
△八、四〇A　獨唱…四家文子　ピアノ伴奏…保科その子
△九、〇〇N　講演（冬の日鹽治　黑岩直吉　本アルプスを語る）鹽島
△九、三〇A　時報　ニュース　氣象

金銀高價買入
純金九圓十錢買入
大判　廿二金　七圓七〇錢
小判　廿　金　五圓七〇錢
十八金　五圓七〇錢
金歯　六圓七〇〇錢
（以上一匁ニ付）
尙相當御持合せの方には特に御相談致します！。
金光堂時計店
平　電一九五五

平館　割引券（ワリビキケン）二十錢券一枚十五錢
平町土橋（マルマン）
電話四八九（ヨヤク）

毎度御ひいき有難ふ御座ゐます。
うなぎ御用命は
うなぎ奴
ホール御座敷の設備あります。平町田町（電話二二番）皆樣の御立寄を！

夜診療間
胃腸科　内科　十二指腸虫病　専門部
梅毒淋病　皮膚病　婦人病　専門部
外科部
松村性病泌尿器科醫院
（平町南町電一〇七番）

紅ヒ紅茶代用品
即席志るこ　現出
何處の御家庭でも熱湯さいあれば卽席に出來ます
尙一分間炊けば一層風味良く出來ます。
在來の晒あんとは全々違ひ日向臭く有りません。
小豆天賦の風味芳香と榮養分完全に保有されてあります。
年末年始の贈答品には好適當です。
一袋正量三七五瓦入（約五人分）金三十錢
贈答品函入　金一圓
製造發賣元　日進堂
（特約販賣店募集）　平町田町　電一八六

開業廣告
全科　醫學博士　渡部義夫
外科
內科
般科
小兒科　女醫　渡部きい子
（入院應需）
平町田町大通　渡部外科
電話二七七

吸入用酸素
純度99%
◎秤ノ取ラレタ緒・疵・修繕致シマス
度量衡器
モノサシ
マス
カリ
體温計
寒暖計
開內藥局
電話四〇番

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
山內醫院
醫學士　山內亨吉
入院隨意
病室完備
電話六九一番

家庭療治器
オキシヘーラー
（ずら非に氣電し仙）
オキシヘーラは心臟の働きを強く正しくし病を根本より治す。理論より實際是非一度御來訪御實驗のほどを——。
適應症
高血壓、輕症中氣、心臟病、ルイレキ神經衰弱、生殖器衰弱、神經痛、リウマチス、流行性感冒、肺炎、氣管支加答兒、ロクマク炎、喘息、胃腸病、黃疸、膽石、腹膜炎、盲腸炎、中耳炎、カクマク、ソコヒ、蓄膿症、痔疾、皮膚病、禿頭病、脊髓カリエス、骨膜炎、腎臟病、脚氣、脳カタル、糖尿病、丹毒、婦人病、打身、切傷等々。
◎急性症にして發病直後に治療せば多くは數日にして全治し、難症、病疾と雖も熱心繼續治療によつて必ず治癒す
◎慢性の方は器械を買求め御自宅にて御治療せられたし。
七ケ郡一手販賣と實驗治療　原田良節
オキシヘーラー平實驗所
平町田町役場通り四九

一內般科　難波醫院
醫學博士　難波睦
平町大町新川端（電話五〇二番）

內外科花柳病　內臟一般科
入院隨意　自炊の便あり
平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番）
安齊外科醫院

不況の重壓に堪へず
酒屋さんの休廢業續出
來春二三月連續の三四期分を懸念
愈々斷行される滯納稅整理

先年一時五十四軒を算した郡下の酒造家は先年來不況の重壓に抗し兼ね傳來の家業から哀れにも沒落を辿るもの續出し最近では四十三軒に減少したのみか現在實際に醸造しつつあるは合計三十六軒に過ぎぬ狀態でその結果最近酒造稅の調達がつかぬ爲行方を晦まし又は各種の手段を弄して稅金の逃脫を謀り少からず當局の手を焼かせる向を生ずるに至つたので平稅務署間稅課では昨十四日檢事局を訪れ其間の事情を打明け近く斷乎たる處分に出るものの如き形勢になつたが目下の納稅義務者中所在不明は某(特に名を秘す)の二名で連續する今年度第三、四期分の納入に就ては當局が今から既に日夜頭を惱ましてゐるやうである

期限後の差立は年内に配られる
年賀郵便に就て當局の希望事項

今年の年賀郵便特別取扱は愈々來二十日から二十九日迄行はれるが昨年の平局取扱數は引受(配達、中繼を合計し實に百一萬五千通の夥しい數に上り今年は幾分明るい氣分が漂つてゐる處から之より一割の增加を豫想してゐるだけに期間内に差出さぬと各種の手違ひを伴ふ場合無きを保し難いので平館世界館を利用して映畫によつて年賀郵便の早期吸收策を講ずる事になつたが差出しに當つては左記諸項を注意されたいと

△賀狀特別取扱期日後三十日若くは三十一日に差出すときは土地の遠近に依るが年内に配達され賀詞の意味を沒却する虞れがある

△二十九日以降年始五日頃迄は書狀、日刊新聞以外の郵便物は平素の取扱方法を免れぬから急を要する通信は葉書に依らず市内外共必ず書狀で差出す事

△臨時配達手の爲に一層標札掲出に留意する事

湯本上水道
國庫補助交附
愈々近く指令される
昨日委員會で竣功式擧行協議

湯本町の上水道は三十六萬いたが多分年内に竣功式を六千圓の巨費を投じ過般既に理想的に竣功し古來水饑饉の同町一圓に所謂劃期的の便益を供與しつつあるが國庫補助八萬七千圓の交附指令無く竣功式其他正式の結末をつける事が出來ず過般來鋭意之が促進運動を續けて來た處今回愈々最後の決裁を受けらるる處へ漕ぎつけ諸種の協議打合せを行ふべく昨十四日委員會を開き次の如く判明した

△營業收益(四百圓未滿)長橋町雜貨商若葉シチ外十九戸(四百圓以上千圓未滿)材木町染物業阿部傳六外二十二戸(千圓以上)研町綿商吉村安次郎外四戸、△所得(千二百圓未滿)、材木町瓜田壽外十六戸(千二百圓以上五千圓以下)古鍛冶町津田達造外十七戸(五千圓以上)番匠町堀江正直外五戸

受驗資格獲得から平商生
希望に輝く
最近進學志望者續出

先年來五年制度になつた平商業學校では進學者のトップとして今春大越三郎君を大倉高等商業へ送つたが明春卒業生の中には彦根高商東京藥學校、岩手醫專へ三名の志望者があり之等は何れも目下熱心に受驗勉强中であるが生徒中上級學校入學受驗資格の獲得を喜んでゐる向が頗る多く漸次好影響を齎してゐる、因に明春卒業の三十八名中鐵道一、商店二計三名、自家營業六名の方針が決定してゐるたいと語つてゐた

第三小學道路實現
盛に蒸し返さる
地元立町で猛運動開始

曾我委員出福　今十五日縣から縣教育館建設委員を囑託された曾我平第一小學校長は二十日福島市に開かれる第一回の委員會に出席する筈であるが過般の建設決定の詮衡委員會に於て否決の大勢を挽回したゞけに今後の運動を劃目されてゐるが九年度を八年度に繰り上げ建設案が提出されるだらうから促進に努力したい

過般の水害に刺戟されて再び復蒸し返し中の第三小學校通學道路に關し地元立町で起し初志の貫徹を期すべく此際徹底的の猛運動を起し組長會を開き實現運動に就て協議する事となつたが從來の十八學級を二十四學級に擴張される矢先でもあり町の豫算編成を前にされる縣下女子中等學校体育局扱ひの郵便貯金は十月以來の利子引下げと歳末の特別取扱期日後三十日迄行はれるが昨年の平局取扱數は引受(配達、中繼を合計し實に百一萬五千通の夥しい數に上り今年は幾分明るい氣分が漂つてゐる處から之より一割の增加を豫想してゐるだけに期間内に差出さぬと各種の手違ひを伴ふ場合無きを保し難いので平館世界館を利用して映畫によつて年賀郵便の早期吸收策を講ずる事になつたが差出しに當つては左記諸項を注意されたいと

△二十九日以降年始五日頃迄は書狀、日刊新聞以外の郵便物は平素の取扱方法を免れぬから急を要する通信は葉書に依らず市内外共必ず書狀で差出す事

△臨時配達手の爲に一層標札掲出に留意する事

磐中人國記
十四
赤井嶽男記

△第二回生のA　既に十名、之亦『磐中第二回卒業生同窓會冥土支部』が出來てゐるらしい死亡率である。

×

第一回に較べ際立つて早のが明治三十五年で同窓會長は金古現内務省勅任技師から宛然最近物故した政友會の森圖將を聯想せしむるやうな同氏妹婿西條七十郎氏に、副會長は仙台の醫專かつた國學院卒業が今期に於ては

中西亨氏(平舊藩舊姓稻垣東京現住)根本荒次郎氏(大久出身元足利及太田中學校教諭)

第二回卒業生を出した回卒業生同窓會冥土支部』ある。

×

第二回卒業の花澤市愛氏(平町)に代つてゐた。當時の卒業生三十七名中死亡(滿)長橋町雜貨商若葉シ

磐城丸
鮪漁場調査

磐城丸昨夜出動　磐城丸は鮪漁場調査の爲昨十四日夜千葉縣銚子沖へ向け出動した

年憂鬱な話を乗せて迫る汽車は走る
暖房裝置とアベコベに滲み出る冷汗
……(N)……

▽　△

幕！幕！幕！一九三二年非常時日本の歳の暮は迫る街頭には物價高と購買力の枯渇に餘りにも底力のぬけ

△

オール急迫。師走に入つて

△

彼方の隅。此方の窓邊に

△

語り合ふ學生今雛鬪の學期試驗で持ちきりだ——商人は不景氣を——お内儀さんは儘ならぬ家政の切り廻し冬籠りの仕度着を——話題の憂鬱なる事よ。

▽　△

汽車は走る。師走の風を切つてヤケ氣分に走る。

(玲光生)

紛糾の磐崎村長に
大平法學士を昇ぐ決議
交渉の結果刮目さる

磐崎村長問題は過般酒井醫の儘であつたが此程の村會に於て八對七で同村出身東京現住法學士大平庄平を氏擧ぐる事になり目下先方へ交渉中であると

元署跡の空地へ青物類臨時賣店
町當局の利用計劃

平町では近く署跡空地三百六十四坪の買ひ受けに關し町會を招集するが該土地は縣が曩に拂ひ下げの入札を執行當時最高三十二圓で豫定の四十圓見當に及ばざる程遠く其儘となつたものだけに財源捻出上如何なる方法を講じても滿場一致拂ひ下を受くる事に決定するらしく内官舍跡の約百坪は地續きへ緣故拂下げ外六十坪の道路敷豫定地を除く二百四坪に青物市場の臨時賣店を設け度い希望であるとの事

利下げと年末で局から逃げる金
最近据置が六萬三千圓減

平町では近く署跡空地三百六十四坪の買ひ受けに關し町會を招集するが該土地は縣が曩に拂ひ下げの入札を執行當時最高三十二圓で豫定の四十圓見當に及ばざる程遠く其儘となつたものだけに財源捻出上如何なる

公判廷見學
第二生が平支部へ

平第二小學校高等科二年生八名は明十六日平支部に

勞銀の内金だと主家の印を持ち出す
獨り極めの職工捕はる

平町鎌田町四九亥之吉二男錦物職高嶋忠治(三)は一昨五年十月中小名濱町吉田鐵工場に雇はれ中未拂ひ賃銀十二圓の一部と云ふ自分勝手の理窟をつけ無斷で鮑金六貫匁價格七圓を持ち出し昨十四日午後四時半頃長橋町の古物商に賣却せんと無鑑札自轉車を飛ばして古鍛冶町地内を疾走中平署員が發見取押へた

銅線泥と故買の醜類
四年越しに雇人の盜み

三名へ懲役八ヶ月　内郷村宮字御殿赤塚利之助(三八)高坂齊藤臨平(四一)の兩名は八月中數回に亘り磐炭場される迄前後四十件の胡桃三名が懲役八ヶ月

昨日竟に檢擧さる　小名濱町後場農小野源吉方雇人磐崎村生れ崎村庄太郎(三一)は昭和四年四月中同字江尻松之助の留守宅から火箸で煙管をコジ開け五十錢を窃取したのを手初めに去(二)は腸チフスと決定昨十四日何れも隔離された

藤末一郎(四七)小松銀平(五六)中野一(三四)白坂梅三(四六)佐藤勘三(三五)小野利衛(四七)

の十三名は平署から大目玉を頂戴し夫々始末書を取られた

懲役。去二日平町月見町飲食店白土ムメ方で一圓三十五錢の無錢飲食をした上黒羅紗外套を搔つ浚つた住所不定無職樺太榮濱村前科三犯川部定吉(三八)は昨十四日午後一時平區に於て懲役一年を言渡された

隔離。平町田町五七吉田ユキ子(九)はヂフテリア、内郷村白水七五岩崎テル子(二)は腸チフスと決定昨十四日何れも隔離された

平町慶弔簿

△出生
柳町三有賀高義二男信高

△婚姻
名古屋市西區木挽町七丁目八柳田安次郎(三三)銀治町二六宮田サタ(四)

判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神聖館

舊十一月　金曜　新
辛亥　大安　閉　九宿
十月十九日　十二月六日

▲一白の人　平穏なる氣運なれど無理すれば不利に陥る▲二黑の人　輕忽の振舞をなして思はぬ驚きに會すべし▲三碧の人　勞すれば勞する丈の功を呈する活躍有望日▲四綠の人　身心落付かず氣移りを生じ失策を招くべし▲五黃の人　成ひは天に任せ義の爲めには大に奮闘せよ▲六白の人　約定事の爲め遠惡起り後日の辛勞をみる日▲七赤の人　運氣すこぶる不良にして既得の財をも失ふべし▲八白の人　運意なられども人慢せざる可らざる事起る▲九紫の人　雖同大に成れども人に利をすくはゝ事あり

井坂醫院　平町田町　電話　五五九番

上田醫院　平南町　院長　上田耕作　電一二九

開店御披露
各位倍々御清祥の段奉賀上候、扨て去る八月一日類燒以來休業致し居り候處愈々落成四日より從前通り開業致し候間舊に倍する御贔負御引立を相仰ぎ度偏に御願申上候
十二月九日
平町南町川岸通
玉よし
電話四二六番

吉田眼科病院　平町紺屋町

内科、小兒科、外科一般、婦人科、外科、梅毒、淋疾、皮膚病
市原卯太郎　市原陸郎　市原三三男
平町田町本通
市原醫院
(入院隨意)　電話一一四番

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社直油特約店
關彰商店平支店
電話六一番
本店　水戸線下館驛前(電話五五番)
支店所在地
茨城縣土浦町田宿(電話六五三)
常磐線關本驛前(電話八二四)
常磐線四倉驛前(電話四八)
(電話平潟五四)
◇安全、便利、經濟のスタデリナ石油コンロ
◇完全燃燒のネンショーストーブ
營業種目
石油揮發油輕油、重油、モビール油、マシン油、機械油類、胡麻、種水、植物油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ……
[型錄進呈]

氣管、食道科、耳鼻、咽喉科、
平町南町(元眞木辯護士跡)
增田耳鼻咽喉科醫院
(入院隨意)　電話四八二番

貸切ノ御用命ハ
イツテモ眞先ニ(マツサキニ)
松崎(マツサキ)ニ
三九二ニ(ミクニ)タクシーへ
(デンワ、ミクニ)